

表10-3 プランクトン同定計数結果

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取時刻	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
		年 月 日		H 20. 4.17	H 20. 4.17	H 20. 4.17
		時 刻		10:05	9:43	10:33
		全水 深 (m)		21.0	16.0	16.0
		採取水 深 (m)		0.20	0.20	0.20
		採水 量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.		+	
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	188	244	144
3			CRYPTOPHYCEAE	16	112	52
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae	40	8	20
5			DINOPHYCEAE	16	24	
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	40	44	32
7			Mallomonas spp.	40	20	
8		珪藻	Asterionella formosa	24	+	
9			Aulacoseira distans	48	88	40
10			Aulacoseira sp.	12		
11			Fragilaria crotonensis		+	
12			Navicula sp.		4	
13			Nitzschia spp.		4	8
14			Skeletonema potamos	28		104
15			Synedra acus	1170	1500	88
16			Synedra spp.		4	4
17			Thalassiosiraceae-5	2760	2760	7130
18			Thalassiosiraceae-10	372	388	2580
19			Thalassiosiraceae-25	44	68	64
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	256	64	8
21	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.			8
22			Closterium spp.	+	+	
23			Dictyosphaerium sp.	+		
24			Elakatothrix sp.	8		
25			Eudorina sp.			+
26			Monoraphidium spp.	160	48	140
27			Scenedesmus spp.	64	112	8
28			Sphaerocystis schroeteri	64		
29			CHLOROPHYCEAE	60	8	20
30	節足動物	甲殻	CRUSTACEA			1
31	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			1
32			Polyarthra sp.	+		
33			EUROTATOREA	+		
34	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	6	4	4
35			Tintinnopsis sp.		+	
36			CILIOPHORA	16	20	16
37	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	3940	5050	14700
38			鞭毛藻	984	648	1080
総 数				10316	11222	26252
種類組成						
藍藻				0	0	0
クリプト藻				204	356	196
渦鞭毛藻				56	32	20
黄金色藻				40	64	32
珪藻				4458	4816	10018
ユーグレナ藻				256	64	8
緑藻				356	168	176
その他の植物性動物性				4924	5698	15780
動物性				22	24	22
検査条件				固定条件 定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
				分離条件 定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。		
				検鏡条件 定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
				検鏡者所属氏名 (財)千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水地

採取地		採取年 月 日		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋		
採取時 刻		H 20. 5. 27		H 20. 5. 27	H 20. 5. 27	H 20. 5. 27		
全 水 深 (m)		10:12		10:55	11:10			
探 取 水 深 (m)		21.0		16.0	16.0			
探 水 量 (ml)		0.20		0.20	0.20			
探 水 量 (ml)		100		100	100			
No.	門 網	出 現 種 名						
1	藍 色 植 物	藍 藻	Aphanizomenon spp.	2		+		
2	ク リ プ ト 植 物	ク リ プ ト 藻	Cryptomonas spp.	110	220	390		
3			CRYPHOPHYCEAE	10	50	20		
4			Peridiniaceae	20		10		
5	渦 鞭 毛 植 物	渦 鞭 毛 藻	Mallomonas sp.			10		
6	不 等 毛 植 物	珪 藻	Attheya zachariasii		10			
7			Aulacoseira ambigua	130	27	36		
8			Aulacoseira distans	+	20	20		
9			Aulacoseira granulata	160		12		
10			Nitzschia spp.			20		
11			Synedra acus		1	1		
12			Thalassiosiraceae-5	36800	30300	32100		
13			Thalassiosiraceae-10	430	460	1000		
14			Thalassiosiraceae-25	20	20	20		
15			ユ ー グ レ ナ 植 物	ユ ー グ レ ナ 藻	Trachelomonas spp.	30	10	+
16			緑 色 植 物	緑 藻	Ankyra ancora		10	
17					Eudorina sp.		32	
18					Monoraphidium spp.			40
19					Pandorina morum		+	
20	Scenedesmus spp.	+			40	+		
21	Schroederia spp.	+				10		
22	CHLOROPHYCEAE	10			+			
23	節 足 動 物	甲 殻			CRUSTACEA	1		
24	輪 形 動 物	輪 虫			Keratella sp.			1
25					Polyarthra spp.	1	1	
26	織 毛 虫	多 膜 口	Tintinnopsis sp.		+			
27			CHLIFHORA			20		
28	不 明 プ ラ ン ク ト ン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1790	3670	4480		
29			鞭毛藻	170	280	280		
総 数				39684	35151	38470		
種 類 組 成				藍 藻	2	0		
				ク リ プ ト 藻	120	410		
				渦 鞭 毛 藻	20	10		
				黄 金 色 藻	0	10		
				珪 藻	37540	33209		
				ユ ー グ レ ナ 藻	30	0		
				緑 藻	10	50		
				そ の 他 の 植 物 性	1960	4760		
				動 物 性	2	21		
検 査 条 件				固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
				分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。			
				検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
				検 鏡 者 所 属 氏 名	(財) 千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久			
備 考								
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取地		採取年 月 日			採取時刻	H 20. 6.17	H 20. 6.17	H 20. 6.17
採取時刻		採取年 月 日			採取時刻	11:53	12:20	11:25
全水深 (m)		採取年 月 日			採取時刻	20.9	15.7	16.3
採取水深 (m)		採取年 月 日			採取時刻	0.20	0.20	0.20
採水量 (ml)		採取年 月 日			採取時刻	100	100	100
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直叢トリコーム)	(48)	(14)			+
2			Aphanizomenon sp.					(1)
3			Oscillatoria sp.					(1)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	136	160			36
5			CRYPTOPHYCEAE	64	24			24
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae	112	52			
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	16				
8		珪藻	Asterionella formosa	164	208			576
9			Attheya zachariasii	108	8			256
10			Aulacoseira ambigua	+	156			76
11			Aulacoseira distans	+				36
12			Nitzschia sp.					4
13			Rhizosolenia longiseta					12
14			Synedra acus	1				
15			Synedra ulna	1				
16			Thalassiosiraceae-5	394	358			5800
17			Thalassiosiraceae-10	8	16			72
18			Thalassiosiraceae-25	36	16			96
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	16	64			12
20	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	+				+
21			Coelastrum spp.	320	256			288
22			Eudorina spp.	672	480			16
23			Lambertia judayi	164	80			764
24			Monoraphidium spp.	36	16			360
25			Oocystis spp.	8	+			
26			Pandorina morum	928	1150			
27			Pediastrum boryanum		+			
28			Pediastrum duplex	+	+			352
29			Pediastrum tetras	+				32
30			Scenedesmus spp.	80	16			16
31			Schroederia spp.	172	20			372
32			Sphaerocystis schroeteri	256				96
33			Staurastrum spp.		3			
34			Tetrastrum staurogeniaeforme					16
35			CHLOROPHYCEAE	104	244			180
36	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	9	6			
37			Trichocercidae		1			
38			EUROTATOREA					+
39	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	+	1			
40			CILIOPHORA	4	4			40
41	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1430	3190			1720
42			鞭毛藻	128	88			192
総数				5415	6631			11446
種類組成				藍藻	48	14		2
				クリプト藻	200	184		60
				渦鞭毛藻	112	52		0
				黄金色藻	16	0		0
				珪藻	712	762		6928
				ユーグレナ藻	16	64		12
				緑藻	2740	2265		2492
				その他の植物性動物性	1558	3278		1912
					13	12		40
検査条件				固定条件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
				分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
				検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
				検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久			
備考				<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取地		H 20.	7.	2	9:03	H 20.	7.	2		
採取時刻		H 20.		7.	2	9:40	10:33			
全水深 (m)		H 20.		7.	2	17.7	17.9			
採取水深 (m)		H 20.		7.	2	0.20	0.20			
採水量 (ml)		H 20.		7.	2	100	100			
No.	門	綱	出現種名							
1	藍 色 植 物	藍 藻	Anabaena (直線トリコーム)			(23)	(9)	(12)		
2			Anabaena (螺旋トリコーム)					±		
3			Aphanizomenon spp.			(21)	(16)	(32)		
4	ク リ プ ト 植 物	ク リ プ ト 藻	CYANOPHYCEAE (トリコーム)			(10)				
5			Cryptomonas spp.			40	230	40		
6			CRYPTOPHYCEAE				10			
7			Peridiniaceae			10	100	20		
8			Mallomonas spp.			80	30	170		
9			Asterionella formosa			160	43	300		
10			Attheya zachariasii			980	330	1580		
11			Aulacoseira ambigua			46	20	160		
12			Aulacoseira distans			290	60	340		
13			Aulacoseira granulata			63	+	60		
14			Fragilaria crotonensis			370	140	300		
15			Rhizosolenia longiseta			310	50	370		
16			Synedra acus			17	40	13		
17			Thalassiosiraceae-5			6540	6630	2960		
18			Thalassiosiraceae-10			400	180	300		
19			Thalassiosiraceae-25			40	20	50		
20			ユ ー グ レ ナ 植 物	ユ ー グ レ ナ 藻	Trachelomonas spp.			+	10	10
21			緑 色 植 物	緑 藻	Closteriopsis longissima			20	1	3
22					Closterium spp.				+	2
23	Coelastrum spp.				720	+	160			
24	Eudorina elegans						+			
25	Eudorina spp.				320		8480			
26	Lambertia judayi				20	20	40			
27	Monoraphidium spp.				60	40	90			
28	Oocystis sp.				40					
29	Pandorina morum				10800	96	1520			
30	Pediastrum biradiatum						+			
31	Pediastrum duplex				240	92	168			
32	Pediastrum tetras				+					
33	Scenedesmus spp.				160	+	160			
34	Schroederia spp.				50		20			
35	Staurastrum spp.				2		4			
36	CHLOROPHYCEAE				480	140	370			
37	輪 形 動 物	輪 虫			Polyarthra sp.					2
38					Trichocercidae			2		4
39	織 毛 虫	多 膜 口			EUROTATOREA				1	
40					Tintinnidium spp.				1	5
41			Tintinnopsis spp.				1	2		
42			CILIOPHORA			20	10	+		
43	不 明 プ ラ ン ク ト ン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)			3130	4660	3580		
44			鞭毛藻			230	360	330		
総 数					25694	13340	21657			
種 類 組 成		藍 藻		54	25	44				
		ク リ プ ト 藻		40	240	40				
		渦 鞭 毛 藻		10	100	20				
		黄 金 色 藻		80	30	170				
		珪 藻		9216	7513	6433				
		ユ ー グ レ ナ 藻		0	10	10				
		緑 藻		12912	389	11017				
		そ の 他 の 植 物 性 動 物 性		3360	5020	3910				
検 査 条 件		固 定 条 件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理						
		分 離 条 件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。						
		検 鏡 条 件		定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。						
		検 鏡 者 所 属 氏 名		(財) 千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久						
備 考										
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 										

亀山ダム貯水地

採取地		採取年月日	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取時刻		H 20. 8. 19	H 20. 8. 19	H 20. 8. 19		
採取水深 (m)		10:15	10:45	9:16		
採取水深 (m)		16.2	14.8	15.8		
採取水量 (ml)		0.20	0.20	0.20		
採取水量 (ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(80)	(120)	+
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	+		
3			Aphanizomenon spp.	+	+	
4			Lynbya sp.		+	
5			Microcystis aeruginosa	+		
6			Microcystis viridis	+		
7			Oscillatoria sp.	(15)	(5)	
8			Phormidium sp.	(100)	(20)	(40)
9	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas sp.	60	20	60
10			CRYPTOPHYCEAE		+	
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1		
12			Peridinium sp.	5	5	
13	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas tonsurata	40	20	40
14			Mallomonas sp.	80	100	
15			RAPHIDOPHYCEAE		20	
16		珪藻	Amphora sp.	20		
17			Attheya zachariasi	120	20	200
18			Aulacoseira ambigua	+	90	260
19			Aulacoseira distans		40	
20			Aulacoseira granulata	360	35	1680
21			Fragilaria construens		100	40
22			Fragilaria crotonensis	60		160
23			Nitzschia sp.	20	20	
24			Rhizosolenia longiseta	5	40	160
25			Synedra acus	120	20	480
26			Synedra berolinensis	+		
27			Synedra sp.	20		
28	Thalassiosiraceae-5	40	80	140		
29	Thalassiosiraceae-10	80	140			
30	Thalassiosiraceae-25	40	40	80		
31	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	20	40
32	緑色植物	緑藻	Ankyra ancora	20	40	40
33			Chlorella sp.	60	60	20
34			Closterium spp.		5	5
35			Coelastrum cambricum			80
36			Coelastrum sphaericum			320
37			Coronastrum lunatum			80
38			Dichotomococcus sp.			60
39			Didymocystis sp.	40		
40			Elakatothrix sp.	40		30
41			Eudorina elegans		160	
42			Gloeocystis sp.	320	160	
43			Micractinium sp.	80		
44			Monoraphidium spp.	40		80
45			Mougeotia sp.			5
46			Oocystis spp.	100	40	180
47			Pediastrum duplex	+		80
48			Scenedesmus denticulatus			20
49			Scenedesmus ecornis			20
50			Scenedesmus quadricauda		20	20
51			Scenedesmus spp.	180	60	80
52			Schroederia setigera	260	120	300
53			Sphaerocystis schroeteri	640	400	320
54			Staurastrum spp.	40	60	+
55			Tetraedron minimum		5	20
56			Westella botryoides			60
57			Chlamydomonadaceae	20	20	160
58			CHLOROPHYCEAE	100	60	220
59			輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	1
60	絨毛虫	-	CILIOPHORA	5	10	
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6400	17200	10000
62			鞭毛藻		40	
総数			9632	19420	15580	
種類組成			藍藻	195	145	40
			クリプト藻	60	20	60
			渦鞭毛藻	6	5	0
			黄金色藻	120	120	40
			珪藻	885	625	3200
			ユーグレナ藻	20	20	40
			緑藻	1940	1210	2200
			その他の植物性動物性	6400	17260	10000
				6	15	0
検査条件		固定条件	定量試料：グルテールアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水地

採取地		採取年月日	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取時		H 20. 9. 18	H 20. 9. 18	H 20. 9. 18				
採取時刻		8:49	9:17	8:19				
全水深 (m)		14.0	14.6	15.3				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	網	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(12)	(8)	(15)		
2			Aphanizomenon sp.	(8)	(5)	(5)		
3			Microcystis aeruginosa	700		200		
4			Oscillatoria spp.	(10)	(3)	(8)		
5			Phormidium sp.	(3)				
6	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	600	540	20		
7			CRYPTOPHYCEAE	400	420	760		
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	3	3		
9	不等毛植物	ラフィド藻	Mallomonas spp.	+	20	4		
10			RAPHIDOPHYCEAE		3	8		
11			珪藻	Attheya zachariasii			+	
12			Aulacoseira ambigua		+			
13			Aulacoseira granulata				30	
14			Navicula sp.	2				
15			Synedra acus	15	3		5	
16			Thalassiosiraceae-5	40				
17			Thalassiosiraceae-10	40				
18			Thalassiosiraceae-25			10		
19			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.		+	
20					EUGLENOPHYCEAE	5	3	
21			緑色植物	緑藻	Closterium spp.	8	3	+
22	Coelastrum sp.					20		
23	Eudorina elegans					160	160	
24	Eudorina sp.					128		
25	Gloeoecystis sp.						+	
26	Golenkinia radiata						20	
27	Gonium pectorale					80	40	
28	Micractinium sp.					25		
29	Mougeotia spp.	25					+	
30	Pediastrum duplex					60	120	
31	Pediastrum simplex	+			+		90	
32	Pediastrum tetras						+	
33	Pediastrum sp.					20		
34	Planktosphaeria gelatinosa	120					40	
35	Sphaerocystis schroeteri	320			64		130	
36	Staurastrum sp.	10			3		5	
37		CHLOROPHYCEAE					60	
38	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1			
39	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		+			
40			Trichocercidae			4		
41	纖毛虫	-	CILIOPHORA	1	3	5		
42	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	1		3		
43	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	2800	1400	800		
44			鞭毛藻			100		
総数				5150	2965	2635		
種類組成			藍藻	733	16	228		
			クリプト藻	1000	960	780		
			渦鞭毛藻	10	3	3		
			黄金色藻	0	20	4		
			珪藻	97	13	35		
			ユーグレナ藻	5	3	0		
			緑藻	503	543	665		
			その他の植物性動物性	2800	1403	908		
				2	4	12		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理					
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。					
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
		検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫					
備考								
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水地

採取地		採取年 月 日		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
		H 20. 10. 16		H 20. 10. 16	H 20. 10. 16	H 20. 10. 16	
採取時刻		13:49		14:24	13:11		
全水深 (m)		19.3		14.2	16.4		
採取水深 (m)		0.20		0.20	0.20		
採水量 (ml)		100		100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(1)			
2			Microcystis aeruginosa	75			
3			Phormidium sp.	(5)		(10)	
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	15	140	120	
5			CRYPTOPHYCEAE	400	100	400	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	20	25	17	
7			Gymnodiniaceae		+	+	
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	5	5		
9			Mallomonas tonsurata			3	
11			Mallomonas sp.	15	5	3	
12			Asterionella formosa	20	40	38	
13			Aulacoseira ambigua	55	6	13	
14		Aulacoseira distans			10		
15		Aulacoseira granulata	200	55	137		
16		Fragilaria crotonensis	320	40	6		
17		Navicula sp.	5				
18		Nitzschia acicularis		5			
19		Nitzschia spp.	10				
20		Skeletonema potamos	40	200	60		
21		Synedra acus			+		
22		Thalassiosiraceae-5	2400	6800	5200		
23		Thalassiosiraceae-10		200	60		
24		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	5	53
25				EUGLENOPHYCEAE			20
26		緑色植物	緑藻	Ankyra ancora	100	20	40
27				Closterium spp.	+		20
28				Dictyosphaerium spp.	20		
29	Elakatothrix sp.				+		
30	Eudorina elegans			2080	160	427	
31	Eudorina sp.			640			
32	Oocystis spp.				40		
33	Pediastrum duplex			60	80	+	
34	Pediastrum simplex				+		
35	Pediastrum sp.					+	
36	Planktosphaeria gelatinosa			320	360	84	
37	Scenedesmus spp.				20		
38	Sphaerocystis schroeteri			80			
39	Staurastrum spp.			2	1	15	
40		CHLOROPHYCEAE	20	20			
41	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1		
42	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	4	1	1	
43				CILIOPHORA	1		20
44	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	1	2		
45	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	4200	1600	2400	
46			鞭毛藻	40	200	100	
総数				11164	10131	9257	
種類組成			藍藻	81	0	10	
			クリプト藻	415	240	520	
			渦鞭毛藻	20	25	17	
			黄金色藻	20	10	6	
			珪藻	3050	7346	5524	
			ユーグレナ藻	10	5	73	
			緑藻	3322	701	586	
			その他の植物性動物性	4240	1800	2500	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
			検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特微的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取月	採取日	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取地		採取年	採取月	採取日	H 20. 11. 4	H 20. 11. 4	H 20. 11. 4
採取時刻					8:55	9:25	9:59
全水深 (m)					18.2	15.5	17.2
採取水深 (m)					0.20	0.20	0.20
採水量 (ml)					100	100	100
No.	門	綱	出現種名				
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	80	10	
2			CRYPTOPHYCEAE	460	80	90	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1			
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		+	20	
5		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	10			
6		珪藻	Asterionella formosa		5	4	
7			Aulacoseira ambigua	5	10		
8			Aulacoseira distans		10	10	
9			Aulacoseira granulata	5		5	
10			Fragilaria crotonensis		10		
11			Synedra acus	1	1		
12			Synedra berolinensis			40	
13			Synedra sp.	3	5	3	
14			Thalassiosiraceae-5	140	220	60	
15			Thalassiosiraceae-10	20			
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	5	25	5	
17	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	5	5	1	
18			Eudorina elegans			80	
19			Eudorina sp.	32		32	
20			Monoraphidium spp.		5		
21			Staurastrum sp.	1			
22			CHLOROPHYCEAE	40	20	20	
23	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	1			
24	繊毛虫	-	CILIOPHORA			1	
25	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1280	860	1060	
26			鞭毛藻	80	60	70	
総数				2129	1396	1511	
種類組成		藻		0	0	0	
		クリプト藻		500	160	100	
		渦鞭毛藻		1	0	0	
		黄金色藻		0	0	20	
		珪藻		174	261	122	
		ユーグレナ藻		5	25	5	
		緑藻		78	30	133	
		その他の植物性動物性		1370	920	1130	
				1	0	1	
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名		(財)千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

亀山ダム貯水地

採取地		採取年 月 日		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取時刻		H 20. 12. 1		H 20. 12. 1	H 20. 12. 1	H 20. 12. 1
採取水深 (m)		9:48		10:41	9:08	
採取水深 (m)		18.5		15.2	16.1	
採取水量 (ml)		0.20		0.20	0.20	
採取水量 (ml)		100		100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece sp.	(28)		
2			Oscillatoria sp.	(13)	(5)	(4)
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	20	180	20
4			CRYPTOPHYCEAE		140	80
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos			4
6			Mallomonas tonsurata	20		
7			Mallomonas sp.			+
8		珪藻	Aulacoseira ambigua		3	24
9			Aulacoseira distans			9
10			Aulacoseira granulata	4		2
11			Fragilaria crotonensis	13		
12			Melosira varians	5	3	
13			Navicula pupula		20	
14			Skeletonema potamos	440	100	12
15			Synedra acus		2	
16			Synedra berolinensis	16		
17			Synedra ulna			+
18			Synedra sp.		4	
19			Thalassiosiraceae-5	40		
20			Thalassiosiraceae-10	20		20
21			Thalassiosiraceae-25	4	2	10
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		2	8
23	緑色植物	緑藻	Closterium spp.		1	2
24			Oocystis sp.	20	80	
25			Pediastrum asymmetricum	320		
26			Pediastrum duplex	32		
27			Schroederia setigera		8	
28			Staurastrum sp.		2	
29			CHLOROPHYCEAE			20
30	繊毛虫	-	CLIOPHORA		8	12
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100	220	120
32			鞭毛藻	40	20	40
33			鞭毛虫			+
総数				1135	800	387
種類組成						
藍藻				41	5	4
クリプト藻				20	320	100
渦鞭毛藻				0	0	0
黄金色藻				20	0	4
珪藻				542	134	77
ユーグレナ藻				0	2	8
緑藻				372	91	22
その他の植物性動物				140	240	160
				0	8	12
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wessenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水地

採取地		採取年 月 日		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採取時 刻		H 21. 1. 15		H 21. 1. 15	H 21. 1. 15	H 21. 1. 15
全 水 深 (m)		12:00		14:05	10:12	
探 取 水 深 (m)		20.7		15.3	16.4	
探 水 量 (ml)		0.20		0.20	0.20	
探 水 量 (ml)		100		100	100	
No.	門	網	出 現 種 名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	10	110	120
2			CRYPTOPHYCEAE	30	260	340
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+	
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas tonsurata			10
5			Mallomonas sp.		10	
6			Synura sp.		10	
7		珪藻	Achnanthes sp.	10		
8			Aulacoseira ambigua	12	80	140
9			Aulacoseira distans	100		
10			Aulacoseira granulata		2	2
11			Fragilaria crotonensis		28	10
12			Gomphonema sp.		5	
13			Melosira varians		2	
14			Nitzschia sp.	50	10	30
15			Skeletonema potamos	30		
16			Synedra acus	10	5	5
17			Thalassiosiraceae-5	40	20	60
18			Thalassiosiraceae-10	110	70	100
19			Thalassiosiraceae-25	60	20	5
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.		10	10
21	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	2	40	20
22			Monoraphidium sp.	20		10
23			Oocystis sp.	40		20
24			Scenedesmus sp.	40		
25			Chlamydomonadaceae		10	
26			CHLOROPHYCEAE		10	10
27	織毛虫	キネトフラグミノフォラ	KINETOPHAGMINOPHORA			1
28		ー	CILIOPHORA			2
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	270	40	340
30			鞭毛藻	80	30	30
31			鞭毛虫		10	
総 数				914	782	1265
種 類 組 成						
藍 藻				0	0	0
ク リ プ ト 藻				40	370	460
渦 鞭 毛 藻				0	0	0
黄 金 色 藻				0	20	10
珪 藻				422	242	352
ユ ー グ レ ナ 藻				0	10	10
緑 藻				102	60	60
そ の 他 の 植 物 性 動 物 性				350	70	370
				0	10	3
検 査 条 件		固 定 条 件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分 離 条 件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。		
		検 鏡 条 件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検 鏡 者 所 属 氏 名		（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫		
備 考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	採取水深 (m)	採取水量 (ml)	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
		H 21.	2.	17	10:01	16.9	100	H 21.	2.17	H 21. 2.17
					10:57	14.7			10:57	11:58
						0.20			14.7	15.6
						0.20			0.20	0.20
									100	100
									100	100
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Oscillatoria sp.	(1)						
2			Phormidium sp.		(1)					
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		7					32
4			CRYPTOPHYCEAE	9	440					510
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium penardii	15	900					180
6			Peridinium sp.		5					15
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		3					
8			Synura sp.		1090					230
9			CHRYSOPHYCEAE	2	58					230
10		珪藻	Asterionella formosa	7	10					12
11			Aulacoseira ambigua	20	24					25
12			Aulacoseira distans		6					4
13			Aulacoseira granulata	2	3					
14			Gomphonema parvulum	1						
15			Melosira varians		12					
16			Navicula sp.	1						
17			Synedra acus	1						3
18			Thalassiosiraceae-5	27	25					110
19			Thalassiosiraceae-10	40	57					190
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		2					20
21	緑色植物	緑藻	Closterium sp.	1						1
22			Dictyosphaerium sp.	40	24					
23			Monoraphidium sp.							1
24			Pediastrum asymmetricum		16					16
25			Chlamydomonadaceae							2
26			CHLOROPHYCEAE							9
27	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	7	25					9
28		—	CILIOPHORA	1						
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	400	220					140
30			鞭毛藻	90	160					230
総数				665	3088					1969
種類組成				藍藻	1	1				0
				クリプト藻	9	447				542
				渦鞭毛藻	15	905				195
				黄金色藻	2	1151				460
				珪藻	99	137				344
				ユーグレナ藻	0	2				20
				緑藻	41	40				29
				その他の植物性動物	490	380				370
				動物性	8	25				9
検査条件				固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理					
				分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。					
				検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
				検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫					
備考										
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 										

亀山ダム貯水地

採取地		採取年 月 日		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採取時 刻		H 21. 3. 2		H 21. 3. 2	H 21. 3. 2	H 21. 3. 2
全 水 深 (m)		9:13		9:55	10:43	
採 取 水 深 (m)		17.5		15.9	16.8	
採 水 量 (ml)		0.20		0.20	0.20	
採 水 量 (ml)		100		100	100	
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	3	20	20
2			CRYPTOPHYCEAE	24	410	530
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium penardii	16	5	11
4			Peridinium sp.	2		
5	不等毛植物	黄金色藻	Synura spp.	119	816	21
6			CHRYSOPHYCEAE		21	3
7		珪藻	Amphora sp.	7	1	
8			Asterionella formosa	4	25	11
9			Synedra acus	1		
10			Thalassiosiraceae-5	40	140	200
11			Thalassiosiraceae-10	20	160	300
12			Thalassiosiraceae-25		1	4
13	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	6	8	3
14			Euglena sp.			1
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	2	1	
16			Closterium sp.	1	1	
17			Monoraphidium sp.		1	
18			Oocystis spp.		4	
19	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.	16	3	7
20	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		1	
21	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	320	360	480
22			鞭毛藻	170	480	560
23			鞭毛虫			100
総 数				751	2458	2251
種 類 組 成						
藍藻				0	0	0
クリプト藻				27	430	550
渦鞭毛藻				18	5	11
黄金色藻				119	837	24
珪藻				72	327	515
ユーグレナ藻				6	8	4
緑藻				3	7	0
その他の植物性動物				490	840	1040
				16	4	107
検 査 条 件		固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
		検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備 考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特微的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						